

みどりみらい 2nd SEASON ぐんじとしのりの議会報告

2004/01/31 Vol. 21 西の原 2-3-6-104 TEL/FAX 45-8362
E-MAIL ID / toshigunji@hotmail.com

印西市議会/平成 15 年第 3 回定例会報告 (3)

いつもお世話になっております。印西市議会第 4 回定例会 (12 月議会) は、12 月 19 日 (金) にて、閉会しました。今回は、12 月定例議会での議案審議について、抜粋して、ご報告していきたいと思ひます。

議案審議とその結果

* 平成 14 年度印西市各会計歳入歳出決算認定について

私は反対しましたが、議員の賛成多数として認定されました。

~この決算認定に付いては、多くの点で疑問が残りましたので反対しました。

ここでは理由を抜粋し、説明して参りたいと思ひます。

1) 主要施策の成果説明書で私の指摘があつて出てきた資料がありました。

職員は自分の仕事に責任をもち、市民に対していつでも説明責任を果たせるように準備を怠りなく行うべきだと考えます。 - 一般企業であれば、支出は予算の目的通りに使われ、その成果は充分であつたかどうか、常に評価されるものです。

これは自治体であっても同じはずで、歳出予算の目的がありました。しかし、予算消化後の成果検証を行うための成果説明書はありません。このようなことは通りません。

2) 一般質問で私から行財政改革について質問させていただきました。

そもそも、補助金は特定の事業の奨励や行政目的の遂行のためなど、公益上の必要性に基づき支出されるものです。印西市では如何でしょうか？補助金を出しました。その結果を検証すべき、執行部内での決算審査は充分でしょうか？ 私には充分な審査が行われたとは考えられません。一つ一つ精査すべきです。また、市民に全ての補助金を公開し、その金額が市民に認められるようなシステムも今後考えて行くべきです。慣例のように拠出される補助金は、今後しっかり審査を行い、今後減額なり、中止するなり行っていただきたいと思ひます。私は、絶対に既得権益など認めません。

3) 来年度の予算策定にむけて、以下のような意見を申し上げました。

予算の策定は重要です。しかし、決算を通じ、支出の効率化のみならず、市民とともに豊かさを追求する視点を忘れず、考えなおす機会にしていきたいと思ひます。

今、市民は何を考え、何を求めているか、予算の執行にあたっては十分に市民ニーズや問題点の把握をし、その内容を真剣に討議されるべきであろうと考えております。

* 印西市鉄道施設整備条例の制定について

(内容) 現在、印西市には「成田線複線化整備基金条例」(平成 7 年 3 月制定) があります。しかし、この基金はその名前の通り JR 成田線の複線化に伴う地元負担金の財源を確保するために制定されたものであり、今回の条例改正により、JR 木下駅及び小林駅の駅舎や駅施設改修に伴う地元負担、成田新高速鉄道のための補助金、出資金にも活用できるよう基金設置の目的の幅を広げようとするものです。

(結果) 可決 (私も賛成しました。)

(解説) 2010 年 (平成 22 年) に開業を予定している「成田新高速鉄道」建設にあたっては平成 15 年度より平成 21 年度までに印西市負担分として 5 億 4900 万円が求められています。

(成田線複線化整備基金として、1035 万 5 千円 積みたてられています。)

* 印西市文化ホール事業基金条例の一部を改正する条例の制定について

(内容) 印西市文化ホール基金条例中の基金の額を 3 千万円から 2 千万円にするというものです。これは平成 6 年に文化ホールが開館して今年で 10 年を迎えますが、これまでの基金繰り出しの実態に併せて基金の額を改めるものです。

(結果) 可決(私も賛成しました。)

(解説) この議案については、賛否が拮抗しましたが、結果として可決されました。

現在、文化ホール主催事業での赤字はこの基金から補填されています。(その補填額が年間 2 千万円程度です。) 反対した議員の多くは、議案審議の際に「文化事業の必要性」を訴え、基金の額が減額されることによる「文化事業の縮小になり後退すること」を訴えました。私は文化事業を否定するつもりは全くありませんが、厳しい財源の中では相応しい財源配分をする必要があると考え、この条例制定に賛成しました。

[参考] 平成 15 年 5 月実施 印西市住民満足度調査概要レポート (回収 676 人)

印西市 34 の施策中「住民が考える重要な施策ランキング」中

* 魅力ある地域文化の創造と文化財保護への取り組み ..。 29 位

文化ホール運営の為に、多大な空調費用、照明費がかかります。主催事業の内容によっては他施設の活用も考えるべきです。例えば、原地区の「ふれあい文化館」には驚くほどの設備が整っております。もっと有効活用すべきです。

* 平成 15 年度印西市一般会計補正予算について

(内容) 歳出歳入予算の総額に歳入歳出それぞれ 2 億 5691 万 6 千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ 196 億 9255 万 3 千円とするものです。

* 旧草深小学校施設転用事業 652 万 6 千円 / 改修工事設計費用となります。

* 住宅宅地関連公共施設等総合整備事業 1560 万円

/ 平岡自然公園への道路新設工事のための土地買収費用です。

* 調整池整備事業 2 億 9298 万 9 千円

/ 大森地区に予定されている「水生公園」整備に関わる費用です。

- この事業と関連し都市公園整備事業から 9422 万 7 千円の減額補正も行われております。

* 幼稚園施設管理に要する経費 106 万 6 千円 / 遊具の改修を行います。

* 財産の取得について

ジョイフル本田 / 印西消防署牧の原分署西側、国道 464 号線沿いの約 38036,40 m²を
購入価格 3 億 9367 万 740 円で千葉県企業庁から購入しようとする議案ですが、
議案の審議途中で執行部により、取り下げられ、議決は行われませんでした。

(何が問題だったのか?)

当該用地は、私が以前から議会で指摘している

「思いつきで事業を行おうとするのか」と

厳しく追及している土地です。今回は市からは

「財産の取得」という議案で提出されましたが、この土地に関して取得後の今後の事業計画はどのようになっているのか、採算はとれるのか、集客は可能か、いつ頃、誰が考えたのか? 等々多くの議員より質問が集中し、執行部は十分な回答もできず、議案を取り下げました。

執行部としては、事業計画を固め、この議案を 3 月に再提案する予定です。

いつもご声援、ご支援ありがとうございます。この紙面へのご意見に限らず、市政全般へのご提言、ご批判、皆様からのご相談はいつでも承ります。あるべき市政の姿を求めて皆様と手を携えていきたいと思っております。よろしくお願い致します。 ぐんじとしのり